

真皮乳頭層の断層観察



SUSCARE

1. 測定条件

真皮乳頭層の形状を観察するために、in vivo 共焦点レーザー顕微鏡を用いて、皮膚に影響を与えない赤外線（波長 785 nm）を照射して角層に分布するメラニンの反射像を深度1.52 μm ごとに断層観察した。Image Jを用いて、xz軸方向の観察像を構築した。

2. 測定結果

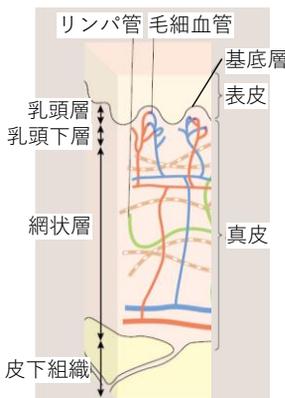


図1. 皮膚組織の概要図
「新しい皮膚科学」より一部改変

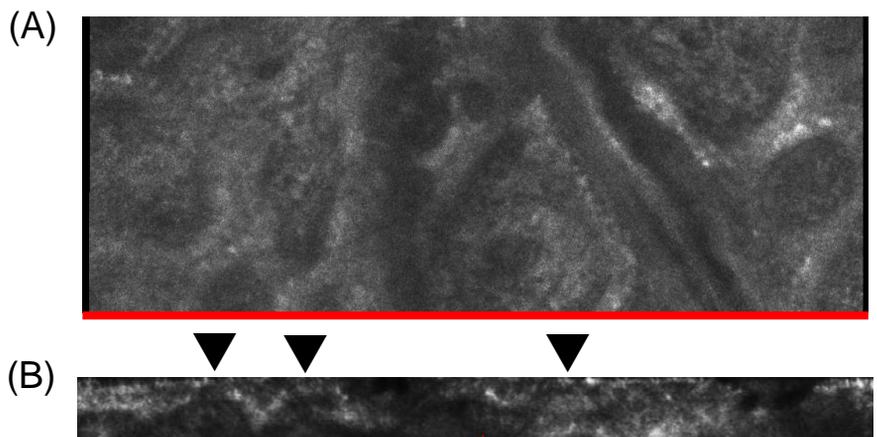


図2. 赤外線照射により断層観察した反射像および3次元構築による画像処理像
(A)はxy軸方向の反射像；(B)は(A)赤線のxz軸方向の画像処理像。▼は乳頭の突起。

3. 測定結果から得られる情報

- 色素細胞内のメラニンの存在により、乳頭層が可視化されます。
- 乳頭層の形状は年齢により顕著に変化するとされています。

4. 使用機器／利用料金

in vivo 共焦点レーザー顕微鏡
(VivaScope 1500, CALIBER I.D.)

中小企業：2,240 円

一般企業：4,770 円（1時間当たり）

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。